

第5回  
札幌市観光産業経済効果調査  
＜概要版＞

平成29年12月  
札幌市経済観光局観光・MICE推進部

# 1. 調査の目的

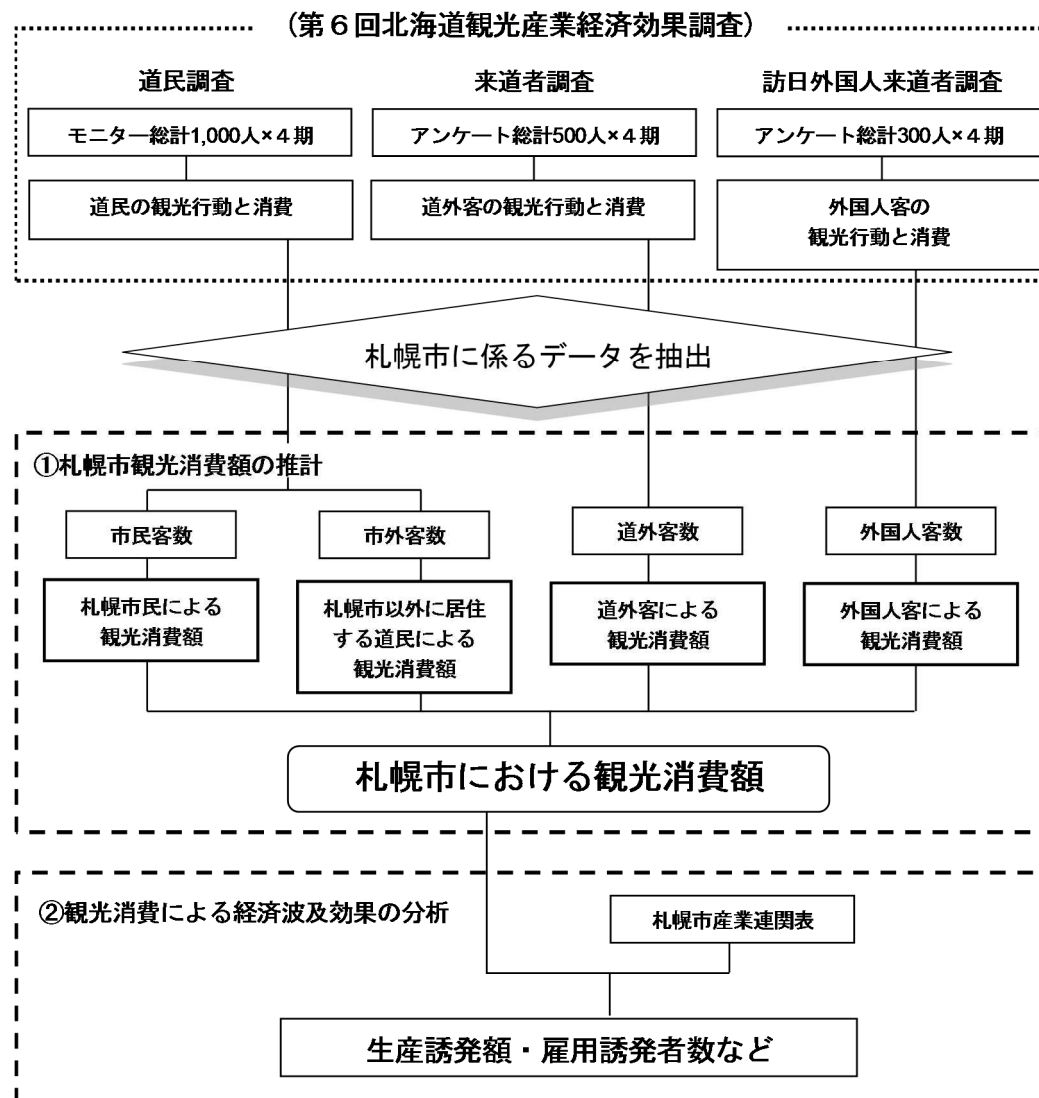
## 調査の目的

本調査は、札幌市民、札幌市以外に居住する道民、道外客及び外国人客の消費動向や動態等を把握することにより、観光経済が札幌市に与える影響を調査・分析することを目的として実施するものである。

また、札幌市における各種指標の検証や今後の計画策定の際の基礎資料を作成することを目的としている。

なお、本調査は北海道において実施する「第6回 北海道観光産業経済効果調査」と連携して行うものである。

## 調査フロー図



## 2. 調査の内容

### 調査期間

平成26年10月1日～平成27年9月30日（1年間）

調査区分	調査期間
第1期調査	平成26年10月1日～12月30日
第2期調査	平成27年1月1日～3月31日
第3期調査	平成27年4月1日～6月30日
第4期調査	平成27年7月1日～9月30日

（過去の調査期間）

回	調査期間
第1回調査	平成5年10月～6年9月
第2回調査	平成11年1月～11年12月
第3回調査	平成16年7月～17年6月
第4回調査	平成21年7月～22年6月

### 分析対象サンプル数

※「第6回北海道観光産業経済効果調査」のサンプルから、札幌市での消費実態のあるサンプルを抽出

区 分	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
札幌市民	345	118	354	334	1,151
札幌市以外に居住する道民	198	65	177	175	615
道外客	210	192	210	187	799
外国人客	207	141	131	163	642
合 計	960	516	872	859	3,207

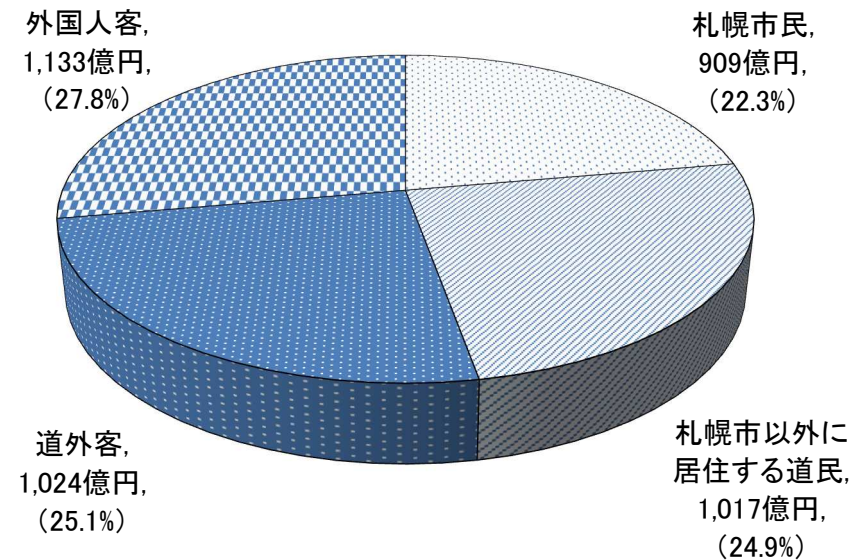
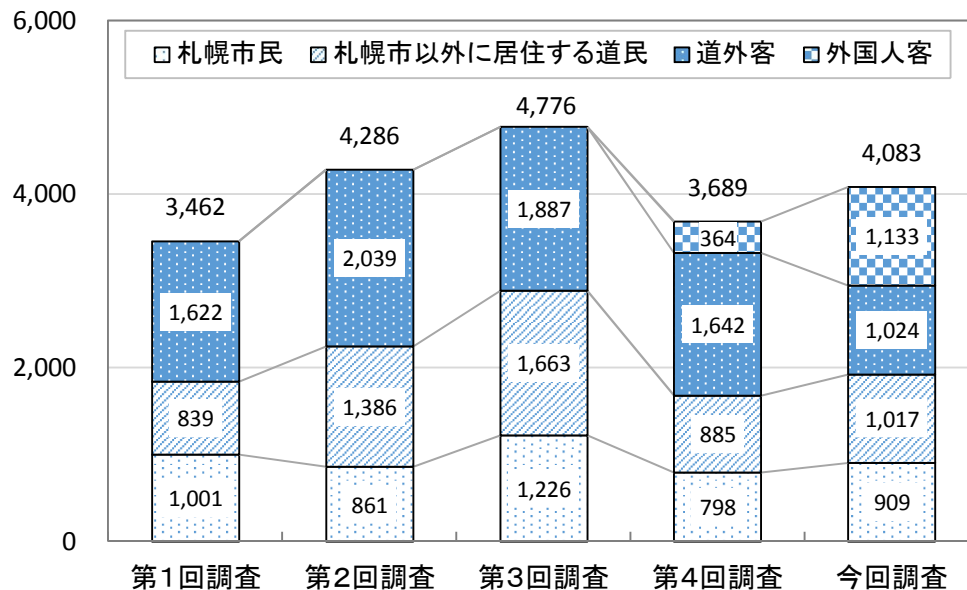
### 3. 総観光消費額

#### 総観光消費額の推計結果

区分ごとの観光消費額単価に年間観光客数を乗じて推計した総観光消費額は、4,083億円となった。  
調査方法の変更により単純比較はできないものの、前回調査と比べると394億円の増加となった。

区 分	観光消費額単価 (円/人) <sup>a</sup>	年間観光客数 (万人) <sup>b</sup>	総観光消費額 (億円) <sup>a×b</sup>	構成比
札幌市民	6,248	1,454	909	22.3%
札幌市以外に居住する道民	—	887	1,017	24.9%
日帰り観光	7,521	661	497	12.2%
宿泊観光	22,949	227	520	12.7%
道外客	—	313	1,024	25.1%
日帰り観光	14,405	83	119	2.9%
宿泊観光	39,346	230	905	22.2%
外国人客	80,028	142	1,133	27.8%
合 計	—	2,796	4,083	100.0%

(単位:億円)



## 4. 経済波及効果の推計

### 過去調査との変更点

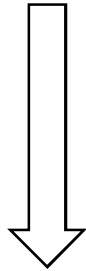
項目	変更内容
直近の観光庁調査への準拠	・経済波及効果の段階区分について、今回は直接効果と第一次間接効果の和を「生産誘発効果」とし、第二次間接効果を「家計迂回効果」としていたが、今回は観光庁調査に沿って、直接効果、第一次間接効果、第二次間接効果とした。
	・経済波及効果を示す用語について、今回は「生産波及効果」、「所得形成効果」、「雇用効果」を用いたが、今回は観光庁調査に沿って「生産誘発額」、「粗付加価値誘発額」、「雇用誘発者数」を用いた。各々、名称は異なるが考え方はほぼ同じである。
	・第二次間接効果(前回調査では「家計迂回効果」)の計算回数について、今回は生産誘発額がゼロに収束するまで反復計算していたが、今回は観光庁調査に沿って1巡のみの計算とした。
	・生産誘発額等の推計の際の平均消費性向について、今回は消費転換率(消費支出÷実収入)を用いたが、今回は観光庁調査に沿って平均消費性向(消費支出÷可処分所得)を用いた。

# 4. 経済波及効果の推計

観光消費による経済波及効果の推計結果

※「平成23年札幌市産業連関表」を使用

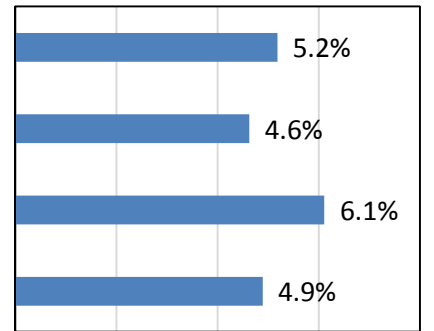
観光消費額 4,083 億円 (市内産業への直接効果 3,331 億円)



直接効果  
粗付加価値誘発額 1,911 億円 (GDPの 2.9%)  
雇用誘発者数 3.7 万人 (全雇用の 4.2%)  
税收効果 94 億円 (全税收の 3.3%)

波及効果

生産誘発額 5,181 億円 ※1  
粗付加価値誘発額 3,027 億円 ※2  
雇用誘発者数 5.3 万人 ※3  
税收効果 140 億円 ※4



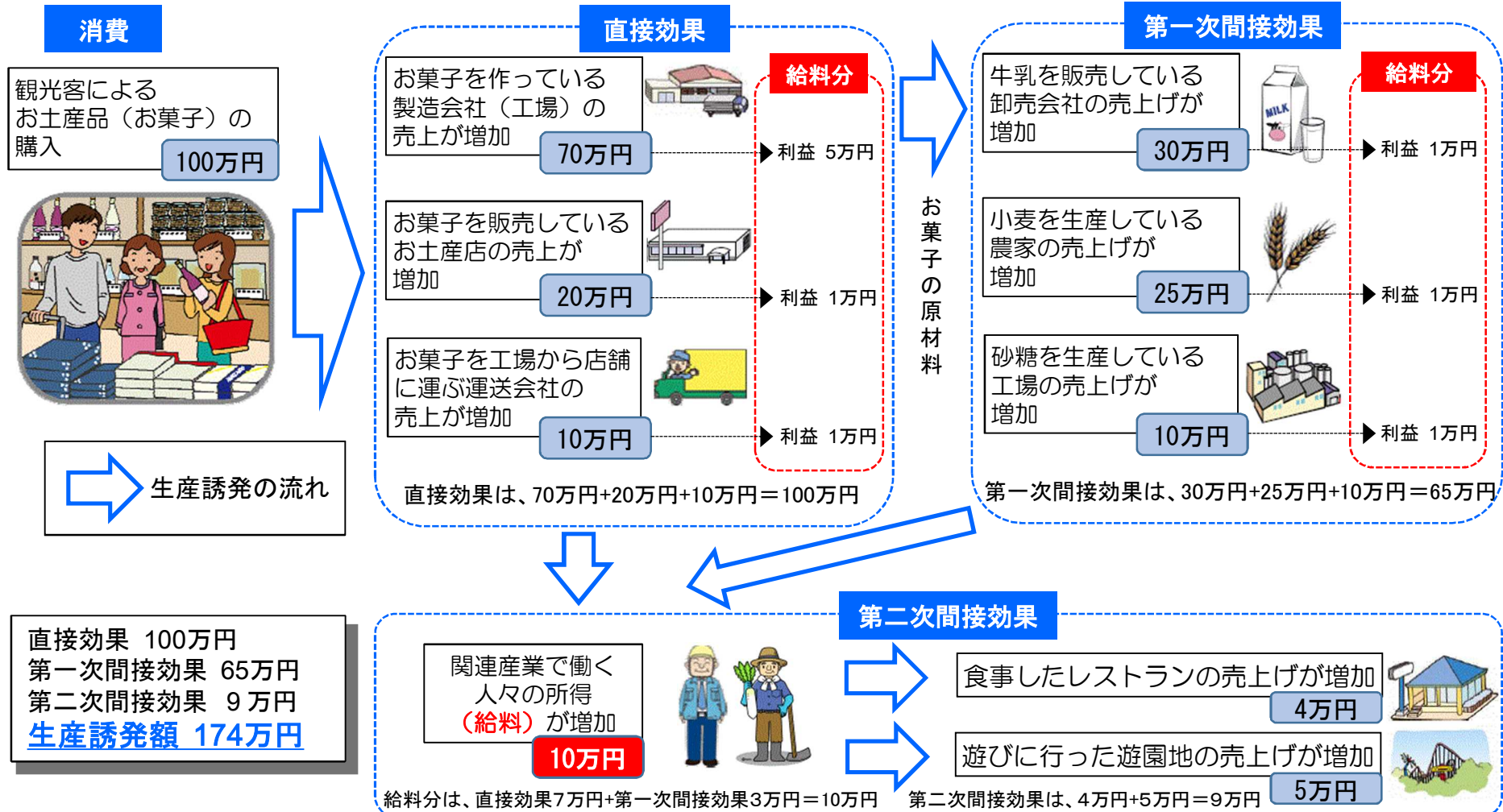
市内経済への貢献度 ※5

0% 2% 4% 6% 8%

- ※1 札幌市産業連関表における市内生産額10.0兆円に対応(平成23年)
- ※2 市民経済計算における名目GDP6.5兆円に対応(平成26年度)
- ※3 国勢調査における昼間就業者数87.2万人に対応(平成22年)
- ※4 税收額2,832.6億円に対応(平成27年度)
- ※5 ここでいう貢献度とは全産業に占める比率

# 生産誘発額とは？ ～お土産品の購入による生産誘発額の例～

○生産誘発額とは、ある商品やサービスの購入により、その商品を生産している産業だけでなく、他の様々な産業にも次々に波及していく金額をすべてとらえたものです。  
 ○その効果は、主に「直接効果」「第一次間接効果」「第二次間接効果」の3つの効果に分けられます。



※この図では、イメージを単純化するため、お菓子そのものや、お菓子の原材料やその生産に必要な燃料・資源に至るまで、すべて地域内で生産されていると仮定しています。また、生産にあたって各産業の利益は全て給料として支払われるものとしています。